

# 平成28年度 共同研究・研究集会 一覧

防災研究所は、「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」として多くの共同研究を実施しています。ともに共同研究を行うのは、国立大学法人、公・私立大学および国・公立研究機関の教員・研究者またはこれに準ずる方です。

今年度採択された共同研究・研究集会を以下にまとめます。

## 1 一般共同研究 研究課題等を公募し、防災研究所内外の研究者が協力して進める共同研究です。

研究年度	研究課題	研究代表者	所内担当者
平成 28・29	昭和期からの斜面調査資料と新技術の融合による斜面崩壊・堆積プロセスの解明	国土地理院地理地殻活動研究センター 岩橋 純子	地盤災害研究部門 松四 雄騎
	軸力計測による杭基礎の施工管理・大地震後の健全性評価システムの開発	東京工業大学 田村 修次	地盤災害研究部門 上田 恭平
	免震装置の交換を考慮した超高層免震建物の維持管理計画手法の確立	東京工業大学 佐藤 大樹	気象・水象災害研究部門 西嶋 一欽
	津波減災における統合的施策のリスクベース設計手法の開発	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科 岡安 章夫	社会防災研究部門 多々納 裕一
	ヒマラヤ山岳域のlandslide災害への局地的降水影響の評価	弘前大学大学院理工学研究科 谷田貝 亜紀代	地盤災害研究部門 千木良 雅弘
	地盤凍結が水循環過程と斜面の安定性に及ぼす影響	日本大学生物資源学部 阿部 和時	地盤災害研究部門 松浦 純生
	スロー地震のセグメント化と地下構造との関係の解明	広島大学 北 佐枝子	地震予知研究センター 澁谷 拓郎
	火山防災協議会における火山専門家機能の基本指針策定に向けた検討	山梨県富士山科学研究所 吉本 充宏	火山活動研究センター 井口 正人
	地形発達史を視点としたネパール地震によるランドスライド多発域のAHP法危険地域評価手法の検討	弘前大学農学生命科学部 檜垣 大助	地盤災害研究部門 千木良 雅弘
竜巻等の突風による飛散物の空力特性の直接測定法の研究	近畿大学建築学部建築学科 野田 博	気象・水象災害研究部門 西村 宏昭・西嶋 一欽	

## 2 一般研究集会 防災学研究の関連分野における萌芽的な研究に関するテーマや興味深いテーマ等について、全国の研究者が集中的に討議するものです。

研究年度	研究課題	研究代表者	所内担当者
平成 28	平成28年度 自然災害に関するオープンフォーラム 「『自然災害の避難学』構築を目指して」	静岡大学防災総合センター 岩田 孝仁	社会防災研究部門 寶 馨
	災害メモリアルアクションKOBEBE2017	ひょうご震災記念 21世紀研究機構 河田 恵昭	社会防災研究部門 牧 紀男
	グローバル化した砂防観測研究の歩みと次世代の観測研究	土木研究所 江頭 進治	流域災害研究センター 堤 大三
	第11回南アジアにおける自然環境と人間活動に関する研究集会 —インド・バングラデシュと周辺諸国における防災知識の共有を考える—	奈良女子大学 浅田 晴久	気象・水象災害研究部門 石川 裕彦
	複合要因により強化する台風災害の実態解明と減災に向けて	琉球大学 山田 広幸	気象・水象災害研究部門 竹見 哲也
	集中豪雨に際して行政機関が採るべき洪水リスク対応手法の法的伝統とその革新 —災害（リスク）情報の伝達・共有、及び「創生」の視点に基づく学際的検討を踏まえて—	大阪市立大学大学院法学研究科 重本 達哉	水資源環境研究センター 堀 智晴
	阿蘇山の噴火活動・マグマ水蒸気爆発を理解する	京都大学大学院理学研究科地球熱学研究施設 横尾 亮彦	火山活動研究センター 井口 正人・中道 治久
	東アジア域における大気循環の季節内変動に関する研究集会	福岡大学理学部地球圏科学科 西 憲敬	気象・水象災害研究部門 榎本 剛
	極端気象下に地下の水災害にいかにかに備えるか？	関西大学環境都市工学部 石垣 泰輔	流域災害研究センター 馬場 康之
	超過外力への対応を想定した減災社会の形成を目指す防災ネットワーク形成のための研究集会（防災計画研究発表会2016／災害コミュニケーションシンポジウム2016）	岐阜大学工学部 高木 朗義	社会防災研究部門 畑山 満則

### 3 長期滞在型共同研究 国内外の研究者が防災研究所に比較的長い期間（1か月から10か月）滞りて共同研究を実施するものです。

研究年度	研究課題	研究代表者	所内担当者
平成 28	Instability of slopes modified by engineered fill materials due to long-period earthquake ground motion: a comparison study of New Zealand and Japan	Jonathan CAREY, GNS Science	斜面災害研究センター 釜井 俊孝
	Transient deformation in Taiwan Island by geodetic measurement, SAR interferometry and borehole strainmeters	Jyr-Ching HU, Department of Geosciences, National Taiwan University	地震予知研究センター 橋本 学・加納 靖之
	The use of real time sea surface temperature for the better numerical predicting of tropical cyclone evolution in the Bay of Bengal	Surireddi SVS RAMAKRISHNA, Dept. of Meteorology and ceanography, Andhra University	気象・水象災害研究部門 石川 裕彦

### 4 短期滞在型共同研究 国内外の研究者が短期間（2週間程度）滞りて共同研究を実施するものです。

研究年度	研究課題	研究代表者	所内担当者
平成 28	Windstorm hazard and vulnerability characterization using "Human-Sensor" data	Frank LOMBARDO, University of Illinois at Urbana-Champaign	気象・水象災害研究部門 西嶋 一欽
	Investigation on effects of uncertainty of velocity structure model in earthquake source inversion study	Miroslav HALLO, Department of Geophysics, Charles University in Prague	地震災害研究部門 浅野 公之
	Coastal flood risk projection in changing climate	Harshinie KARUNARATHNA, Swansea University	気象・水象災害研究部門 間瀬 肇
	領域大気モデル及び陸面過程モデルを用いたカリフォルニアにおける近年の大洪水の評価	石田 桂, University of California, Davis	水資源環境研究センター 田中 賢治
	Improvement of numerical weather model aiming to predict extreme weather and disaster events in Sri Lanka	Arambawattage CM RODRIGO, Department of meteorology, Ministry of Disaster Management	気象・水象災害研究部門 石川 裕彦・竹見 哲也

### 5 地域防災実践型共同研究（一般） 研究者、専門家、行政担当者及び地域住民の協働による実践科学の共同研究で、防災研究所と地域研究コミュニティとの連携を強化することを目的としています。そのうち、防災研究所以外の研究者が研究テーマを設定し組織構成する「研究者提案型」共同研究です。

研究年度	研究課題	研究代表者	所内担当者
平成 28・29	アマチュア無線網を用いた避難移動者の位置確認と携帯回線網との相互 間情報交換に関する研究	静岡大学大学院総合科学技術研究科 鈴木 康之	巨大災害研究センター 矢守 克也
	地域コミュニティと連携するための土砂災害情報の高度化並びに提供 方法の検討	京都大学大学院農学研究科 中谷 加奈	流域災害研究センター 藤田 正治
	桜島における火山活動情報の発信に関する実践的検証	桜島ミュージアム 福島 大輔	火山活動研究センター 中道 治久

### 6 国際共同研究 国外の大学・研究機関の研究者が研究代表者または主要な研究分担者となり、防災研究所内外の研究者と協力して進める共同研究です。

研究年度	研究課題	研究代表者	所内担当者
平成 28・29	Geophysical observations of unsteadiness timescales in volcanic explosions: toward an integral dynamic model of mass flow variations in volcanic plumes	Matthias HORT, Inst. of Geophysics, University of Hamburg	火山活動研究センター 井口 正人
	大規模工業地帯での自然災害と技術の相互影響（NATECH）のリスク低減に関するアジア域内研究イニシアティブ	大阪大学大学院工学研究科 青木 伸一	巨大災害研究センター Ana Maria CRUZ 社会防災研究部門 多々納 裕一
	Enabling smart retrofit to enhance seismic resilience: Japan and NZ case studies	Timothy J. SULLIVAN, University of Canterbury	地震防災研究部門 倉田 真宏

## 7 萌芽的共同研究

自由な発想に基づく小人数の構成による研究への支援を目的とします。

研究年度	研究課題	研究代表者	所内担当者
平成28	地震計を用いた積雪の内部構造の推定	京都大学大学院理学研究科 大澤 光	地盤災害研究部門 松浦 純生
	円筒形岩石試料の高解像度比抵抗イメージング	京都大学大学院理学研究科 鈴木 健士	地震防災研究部門 吉村 令慧
	表層崩壊の発生場および崩土量の予測と土石流への渓床物質の取り込みを考慮した斜面-渓流カップリングモデルによる流域土砂災害予測	京都大学理学研究科 渡壁 卓磨	地盤災害研究部門 松四 雄騎
	気象モデル・LESモデル結合による都市街区スケールの大気乱流・風環境の解析	京都大学防災研究所 竹見 哲也	
	New experimental insights into frictional behaviour and acoustic emission of locally sheared granular materials: Implications for landslide dynamics	京都大学大学院理学研究科 Yao JIANG	斜面災害研究センター 王 功輝

## 8 重点推進型共同研究

自然災害研究協議会が企画提案する共同研究で、自然災害や防災に関する総合的な研究や協議会として重点的に推進しようとする共同研究です。

研究年度	研究課題	研究代表者	所内担当者
平成28	自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の活用と国際展開に関する研究	自然災害研究協議会（京都大学防災研究所） 中川 一	地震予知研究センター 橋本 学 流域災害研究センター 川池 健司
	突発災害時の初動調査体制のさらなる強化および継続的調査研究の支援	自然災害研究協議会（京都大学防災研究所） 中川 一	地震予知研究センター 橋本 学 流域災害研究センター 竹林 洋史

## 9 地域防災実践型共同研究（特定）

研究者、専門家、行政担当者及び地域住民の協働による実践科学の共同研究で、防災研究所と地域研究コミュニティとの連携を強化することを目的としています。そのうち、自然災害研究協議会の地区部会や関連学協会支部などが研究テーマと研究組織を設定する「課題設定型」共同研究です。

研究年度	研究課題	研究代表者	所内担当者
平成28・29	レーダーネットワークを活用した統合防災システムの構築	自然災害研究協議会四国地区部会（香川大学工学部安全システム建設工学科） 山中 稔	地震予知研究センター 橋本 学

## 10 拠点研究（一般推進・特別推進）

共同利用・共同研究拠点として、防災研究所が特に計画的に推進する研究プロジェクトであり、災害に関する学理と防災の総合的対策を目的として、新たな研究課題の提案、研究組織、研究ネットワークなどを形成し、この研究を基礎として将来的に拠点をさらに発展させる研究です。

研究年度	研究課題	研究代表者
平成28 (一般推進)	変動帯の河川侵食による斜面不安定化機構国際比較	地盤災害研究部門 千木良 雅弘
	南海トラフの巨大地震による長周期地震動と被害の予測高度化に関する研究	地震災害研究部門 岩田 知孝
	南海トラフ巨大地震想定震源域南西端におけるプレート間固着状態の解明	地震予知研究センター 西村 卓也
	極端気象時における大規模土砂災害の発生機構の総合的解明および軽減対策	斜面災害研究センター 王 功輝
	ワジにおける鉄砲洪水の多目的管理に関する国際研究拠点形成	水資源環境研究センター 角 哲也
平成28 (特別推進)	運動性の高い火山災害軽減のための総合的研究	火山活動研究センター 井口 正人

## 11 特定研究集会

防災研究所の研究者がリーダーシップをとって実施する、プロジェクトの立案等の企画を目指した研究集会です。

研究年度	研究課題	研究代表者
平成28	土石流・複合土砂災害合同ワークショップ2016	流域災害研究センター 藤田 正治
	第7回総合防災に関する国際会議	巨大災害研究センター 横松 宗太
	第5回表層地質が地震動に及ぼす影響に関する国際シンポジウム	社会防災研究部門 松島 信一
	我々は南海トラフ巨大地震とスロー地震の関連性をどこまで理解できているのか？	地震予知研究センター 山下 裕亮